

これまでに眼内レンズ偏位・脱臼に対して 強膜内固定術を受けた患者さんへ

【手術前後のデータを用いて調査研究をさせていただきます】

順天堂大学医学部附属練馬病院眼科では「眼内レンズ偏位・脱臼の原因と治療」という研究を行っております。この研究では、手術前の各種眼データ、術中・術後の合併症、手術後の各種眼データを調べ、今後のより良い手術方法を模索することを主な目的としています。そのため、過去に当院で強膜内固定術を受けた患者さんのカルテ情報を使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、眼内レンズ偏位・脱臼の方で、西暦 2010 年 7 月 1 日から西暦 2027 年 6 月 30 日の間に当院眼科で、強膜内固定術を受けた方です。

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

診断名、年齢、性別、眼疾患既往歴、術前の眼内レンズ偏位・脱臼の状況、眼軸長、術前後の視力、屈折値、眼圧、角膜内皮細胞数、前眼部の光干渉断層撮影、術中・術後の合併症

○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 倫理委員会承認日 ～ 西暦 2028 年 1 月 31 日まで

・研究責任者 横山 利幸

○過去のカルテ情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性はありません。

○この研究は、研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせ

ず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属練馬病院 眼科

電話：03-5923-3111

研究分担者：武居 敦英